

# H30 国営常陸海浜公園環境保全調査業務

## 報 告 書

(抜粋版)

### 4.3.2 調査結果

#### (1) 植生図作成

植生図作成結果を図 4.3.2-1、図 4.3.2-2 に、確認した植生凡例を表 4.3.2-1 に示す。全域で 39 種の凡例を確認した。

海浜エリアでは、最も広い面積を占めたのは自然裸地で、全体の約 40%を占めていた。そのほかは、外来種であるコマツヨイグサ群落、海浜植生であるハマグルマ群落、ビロードテンツキ群落、コウボウムギ群落などが、数%ずつを占めた。

砂丘エリアについては、最も広い面積を占めたのはチガヤ群落で全体の約 15%であった。次いで、チガヤ群落とほぼ変わらない比率で、クロマツ群落、コナラ群落など高木の群落を占めた。

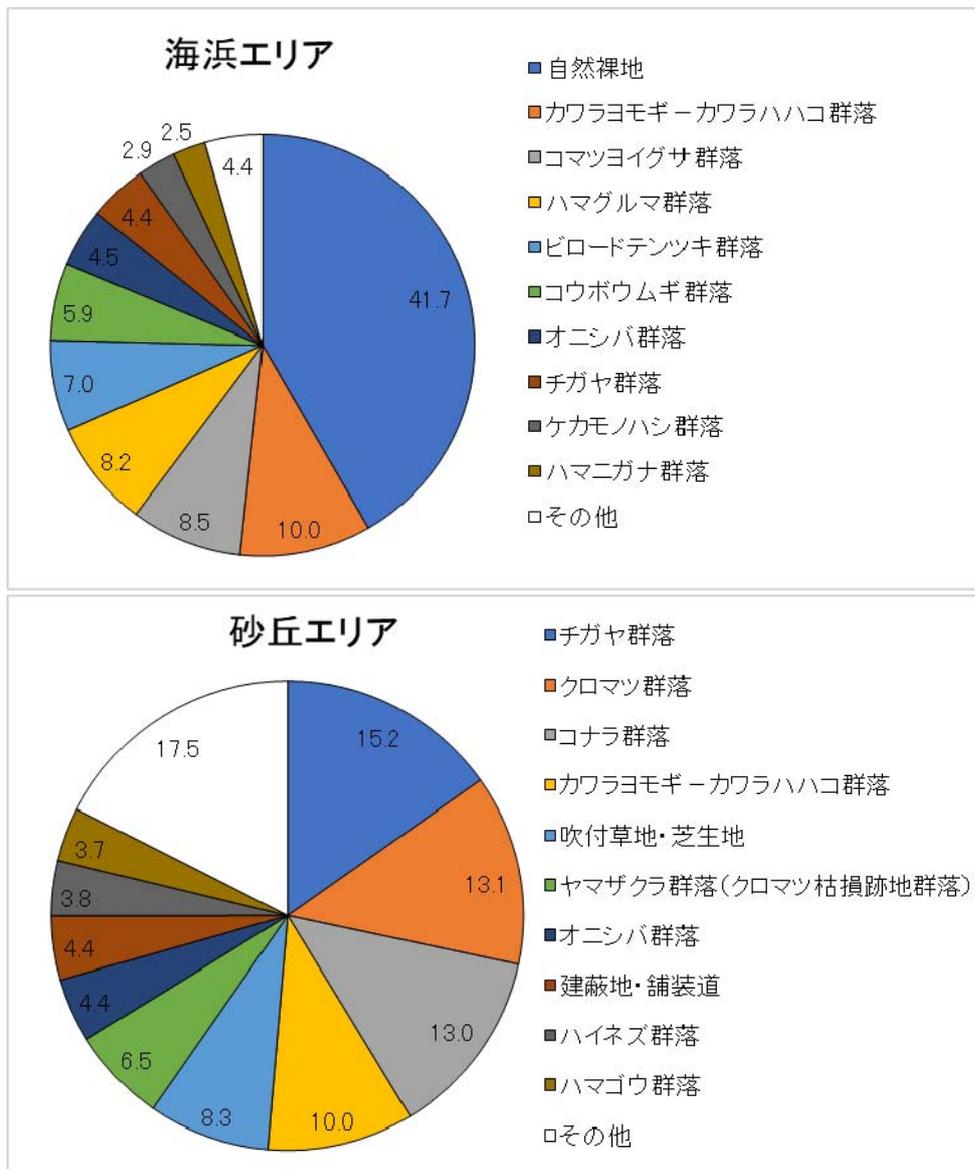


図 4.3.2-1 植生面積の割合

表 4.3.2-1 確認した植生凡例と面積 (H30)

No.	区分		凡例 番号	群落名	植生面積(ha)			
					H30		H30 集計	
					海浜	砂丘		
1	海浜植生	草本	H10	コウボウムギ群落	0.73		0.73	
2			H11	シロヨモギ群落	0.14		0.14	
3			H12	カワラヨモギーカワラハハコ群落	1.23	3.25	4.48	
4			H14	ハマグルマ群落	1.01		1.01	
5			H16	ケカモノハシ群落	0.35		0.35	
6			H17	オニシバ群落	0.55	1.45	1.99	
7			H18	ビロードテンツキ群落	0.86	0.83	1.69	
8			S01	ハマニンニク群落	0.03		0.03	
9			S02	ハマニガナ群落	0.31		0.31	
10			S03	ハマヒルガオ群落	0.07		0.07	
11			木本	T08	ハイネズ群落	0.01	1.25	1.26
12				T09	ハマゴウ群落		1.20	1.20
13	在来	草本	H01	アズマネザサ群落		0.35	0.35	
14			H02	オギ群落	0.00	0.02	0.02	
15			H03	ススキ群落		0.02	0.02	
16			H05	クズ群落		0.45	0.45	
17			H07	チガヤ群落	0.54	4.97	5.51	
18			H30	ヨモギーメドハギ群落		0.18	0.18	
19			木本	T02	クロマツ群落		4.27	4.27
20				T03	クロマツ群落(低木林)	0.02	0.72	0.74
21		T04		コナラ群落		4.24	4.24	
22		T05		ヒサカキ群落		0.28	0.28	
23		T06		トベラ群落(クロマツ枯損跡地群落)		0.08	0.08	
24		T11		ドクウツギ群落		0.01	0.01	
25		T12		マルバアキグミ群落	0.01	0.07	0.09	
26		T13		ヤマナラシ群落		0.02	0.02	
27		T14	ヌルデーアカメガシワ群落(低木林)		0.19	0.19		
28		T15	タブノキ群落		0.12	0.12		
29	T16	ヤマザクラ群落(クロマツ枯損跡地群落)		2.13	2.13			
30	自然裸地	-	Z01	自然裸地	5.12		5.12	
31	外来	草本	H19	コマツヨイグサ群落	1.04		1.04	
32			H20	セイタカアワダチソウ群落	0.01	0.79	0.81	
33			H21	メマツヨイグサーマルバヤハズソウ群落		0.38	0.38	
34			H23	オオフトバムグラ群落	0.08	0.58	0.66	
35		木本	T17	トウネズミモチ群落	0.01	0.01	0.01	
36	人工地	-	Z02	人工裸地	0.03	0.23	0.26	
37			Z03	植栽地		0.37	0.37	
38			Z04	吹付草地・芝生地		2.72	2.72	
39			Z05	建蔽地・舗装道	0.12	1.42	1.54	
合計					12.28	32.60	44.88	

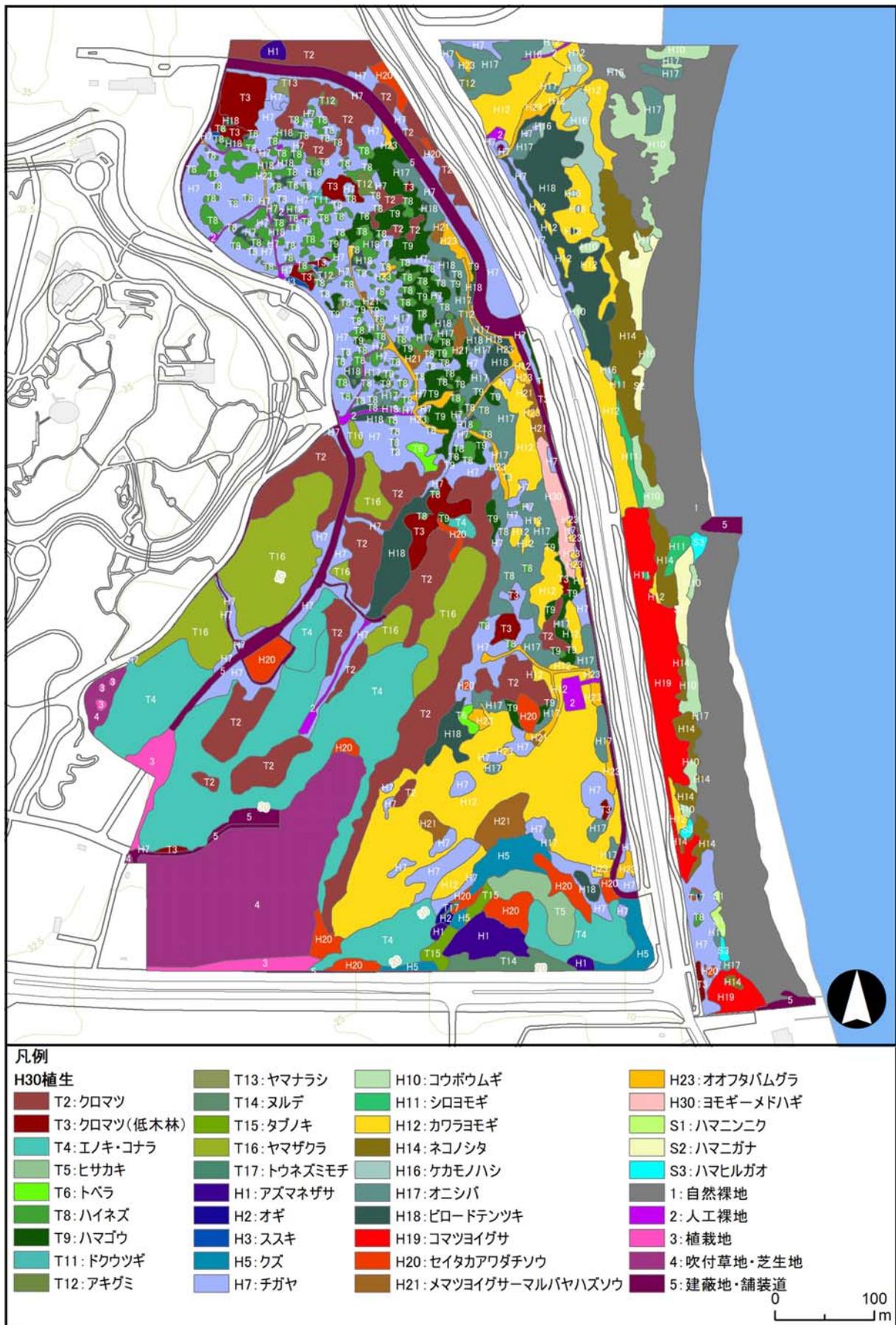


図 4.3.2-2 植生図 (H30 年度)

(2) 群落組成

群落組成調査の地点を表 4.3.2-2、図 4.3.2-3 に、その結果を表 4.3.2-3、表 4.3.2-4 に示す。

表 4.3.2-2 群落組成調査地点一覧

凡例 番号	群落名	CD No.	エリア	
			海浜	砂丘
H01	アズマネザサ群落	18		●
H02	オギ群落	13		●
		41	●	
H03	ススキ群落	14		●
H05	クズ群落	19		●
H07	チガヤ群落	15		●
		42	●	
H10	コウボウムギ群落	30	●	
H11	シロヨモギ群落	29	●	
H12	カワラヨモギーカワラハハコ群落	9		●
		10		●
		39	●	
H14	ネコノシタ群落	36	●	
H16	ケカモノハン群落	35	●	
H17	オニシバ群落	1		●
		2		●
		31	●	
H18	ビロードテンツキ群落	5		●
H19	コマツヨイグサ群落	38	●	
H20	セイタカアワダチソウ群落	12		●
		40	●	
H21	メマツヨイグサーマルバヤハズソウ群落	6		●
		7		●
H23	オオフトバムグラ群落	8		●
H30	ヨモギーメドハギ群落	11		●
S01	ハマニンニク群落	34	●	
S02	ハマニガナ群落	37	●	
S03	ハマヒルガオ群落	32	●	
T02	クロマツ群落	27		●
T03	クロマツ群落(低木林)	28		●
T04	コナラ群落	21		●
T05	ヒサカキ群落	25		●
T06	トベラ群落(クロマツ枯損跡地群落)	26		●
T08	ハイネズ群集	4		●
		33	●	
T09	ハマゴウ群落	3		●
T11	ドクウツギ群落	20		●
T12	アキグミ群落	17		●
T13	ヤマナラシ群落	16		●
T14	ヌルデアアカメガシワ群落(低木林)	22		●
T15	タブノキ群落	24		●
T16	ヤマザクラ群落(クロマツ枯損跡地群落)	23		●
T17	トウネズミモチ群落	43	●	
合計			15	28

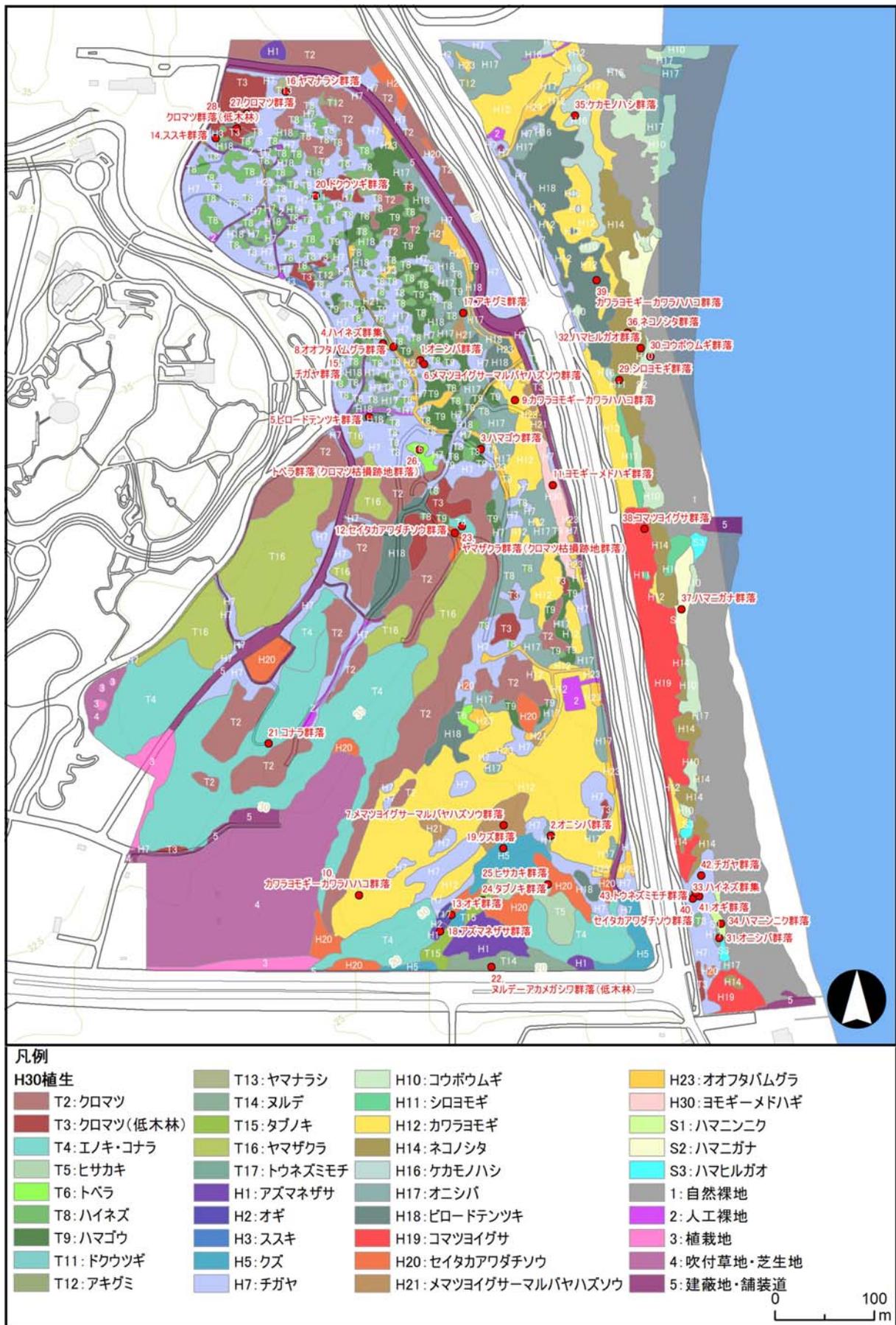


図 4.3.2-3 群落組成調査地点

表 4.3.2-3 群落の確認状況

凡例 No.	群落分類		群落名	群落確認状況
H11	海浜植生	草本	シロヨモギ群落	シロヨモギが優占した草本群落。砂丘の最前面部で砂の移動が激しく不安定と考えられる「不安定砂丘」に成立している。分布は砂丘エリアに限られる。
H10	海浜植生	草本	コウボウムギ群落	コウボウムギが優占した草本群落。砂丘の最前面部で砂の移動が激しく不安定と考えられる「不安定砂丘」に成立している。
H17	海浜植生	草本	オニシバ群落	オニシバが優占した草本群落。砂の移動がやや見られる「半安定砂丘」から移動の少ない「安定砂丘」に成立している。
S03	海浜植生	草本	ハマヒルガオ群落	ハマヒルガオが優占した草本群落。砂丘の最前面部で砂の移動が激しく不安定と考えられる「不安定立地」や高潮線に近い砂礫地に成立している。分布は砂丘エリアに限られる。
T09	海浜植生	木本	ハマゴウ群落	浜号が優占した低木群落。「半安定砂丘」の後背地や砂の移動の収まった「安定砂丘」の前面に成立している。
T08	海浜植生	木本	ハイネズ群落	ハイネズが優占した低木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に広く分布しているチガヤ群落中にパッチ状に成立している。
S01	海浜植生	草本	ハマニンニク群落	ハマニンニクが優占した草本群落。砂丘の最前面部で砂の移動が激しく不安定と考えられる「不安定砂丘」に成立している。分布は砂丘エリアに限られる。
H16	海浜植生	草本	ケカモノハシ群落	ケカモノハシが優占した草本群落。砂丘の最前面部で砂の移動が激しく不安定と考えられる「不安定砂丘」に成立している。分布は砂丘エリアに限られる。
H14	海浜植生	草本	ハマグルマ群落	ハマグルマが優占した草本群落。砂丘の最前面部で砂の移動が激しく不安定と考えられる「不安定砂丘」に成立している。分布は砂丘エリアに限られる。
H18	海浜植生	草本	ピロードテンツキ群落	ピロードテンツキが優占した草本群落。砂の移動がやや見られる「半安定砂丘」から移動の少ない「安定砂丘」に成立している。
S02	海浜植生	草本	ハマニガナ群落	ハマニガナが優占した草本群落。砂丘の最前面部で砂の移動が激しく不安定と考えられる「不安定砂丘」や高潮線に近い砂礫地に成立している。分布は砂丘エリアに限られる。
H21	外来	草本	メマトイグサーマルバヤハズソウ群落	メマトイグサが優占した草本群落。造成により形成された、砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。
H23	外来	草本	オオフトバムグラ群落	オオフトバムグラが優占した草本群落。造成により形成された、砂の移動がやや見られる「半安定砂丘」から移動の少ない「安定砂丘」に成立している。
H19	外来	草本	コマツヨイグサ群落	カワラヨモギが優占した草本群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。
H12	海浜植生	草本	カワラヨモギーカワラハハコ群落	カワラヨモギが優占した草本群落。砂の移動がやや見られる「半安定砂丘」から移動の少ない「安定砂丘」に成立している。
H30	在来	草本	ヨモギーメドハギ群落	メドハギが優占した草本群落。造成により形成された、砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。
H20	外来	草本	セイタカアワダチソウ群落	セイタカアワダチソウが優占した草本群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。
H02	在来	草本	オギ群落	オギが優占した草本群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。
H03	在来	草本	ススキ群落	ススキが優占した草本群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。
H07	在来	草本	チガヤ群落	チガヤが優占した草本群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。
T13	在来	木本	ヤマナラシ群落	ヤマナラシが優占した亜高木群落もしくは高木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。植栽起源の可能性が高いと思われる。
T12	在来	木本	マルバアキグミ群落	マルバアキグミが優占した低木群落。砂の移動がやや見られる「半安定砂丘」の後背地や砂の移動の収まった「安定砂丘」の前面に成立している。
H01	在来	草本	アズマネザサ群落	アズマネザサが優占した草本群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。クロマツ群落の枯損跡地の一形と考えられる。
H05	在来	草本	クズ群落	アズマネザサが優占した草本群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。造成跡地に成立したものと考えられる。
T11	在来	木本	ドクウツギ群落	ドクウツギが優占した低木群落。砂の移動がやや見られる「半安定砂丘」の後背地や砂の移動の収まった「安定砂丘」の前面に成立している。
T04	在来	木本	コナラ群落	コナラが優占した高木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。クロマツ群落よりもより安定した立地に成立していると考えられる。
T14	在来	木本	ヌルデーアカメガシワ群落(低木林)	ヌルデが優占した低木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。クロマツ群落の枯損跡地の一形と考えられる。
T16	在来	木本	ヤマザクラ群落(クロマツ枯損跡地群落)	ヤマザクラが優占した高木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。クロマツ群落の枯損跡地の一形と考えられる。
T15	在来	木本	タブノキ群落	タブノキが優占した高木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。クロマツ群落から遷移した群落の一形と考えられる。
T05	在来	木本	ヒサカキ群落	ヒサカキが優占した低木群落もしくは亜高木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。クロマツ群落の枯損跡地の一形と考えられる。
T17	外来	木本	トウネズミモチ群落	トウネズミモチが優占した低木群落もしくは亜高木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。クロマツ群落の枯損跡地の一形と考えられる。
T06	在来	木本	トベラ群落(クロマツ枯損跡地群落)	トベラが優占した低木群落もしくは亜高木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。クロマツ群落の枯損跡地の一形と考えられる。
T02	在来	木本	クロマツ群落	クロマツが優占した亜高木群落もしくは高木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」に成立している。
T03	在来	木本	クロマツ群落(低木林)	クロマツが優占した低木群落。砂の移動が少ない「安定砂丘」や「半安定砂丘」の前面部に成立している。主な生育場所は、クロマツ群落(亜高木群落もしくは高木群落)の前面部。